

## 東カリブ諸国機構（OECS）6カ国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国、グレナダ、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、セントビンセント及びグレナディーン諸島）

（2019年4月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

### 1. 概況

- カリブ地域の地域航空LIATの再建問題に関し、株主会議でブラウン・アンティグア首相から改善策が提案され、今後検討していくことになった。
- 米務省国際麻薬取締戦略報告書18年版で、OECS6カ国の内、グレナダを除く5カ国が主要な資金洗浄国として掲載された。
- セントキッツで、3年毎の外交週間行事が開催され、同国海外派遣大使、兼轄国を含む駐在大使等が出席した。また、ハリス同国首相は台湾を訪問した。

### 2. 内政

- 1日付セントビンセント紙は、同日多国籍企業への課税を改善する所得税法改正法案が議会で可決されたと報道。
- 4日付セントキッツ紙は、2日与党の地方会合でハリス首相は、VATの一部免除、貧困層への支援等15年選挙公約の殆どを実現したと強調したと報道。
- 5日付カリブ地域紙は、ドミニカ国で市民権のための投資プログラムを活用した52戸の住宅の引渡式が3月26日にスケリット首相出席の下行われ、政府は防災強靱性のある住宅革命の一部であると強調したと報道。
- 8日付グレナダ紙は、EUの非協力的司法組織を持つブラックリストから逃れるために制定した法律により、1,500人の雇用が危ぶまれているが、政府は生活支援を行うと述べたと報道。
- 10日付セントキッツ紙は、ハリス首相が法執行機関の対策強化と地元社会との協力の結果、今年の犯罪件数は大きく下がったと述べたと報道。
- 16日付セントルシア紙は、15日政府は19/20年度予算を発表し、シヤスネ首相は、低所得者の税負担を減らす個人所得税法改正を行うと発表したと報道。
- 29日、セントルシア政府は、シヤスネ首相がスキャンダルで辞任が報じられていたレイモンド公共事業大臣の辞任を受諾した、同大臣への捜査は継続するとの声明を発出。

### 3. 経済

- 1日付カリブ地域紙は、カリブ開発銀行はセントビンセントの海浜保全プロジェクトに1,340万米ドルを支援することを承認したと報道。
- 2日付バルバドス紙は、ブラウン・アンティグア首相は、LIAT航空職員が給与引き下げを受け入れたことを歓迎し、同航空の再編を進めることが出来ると述べたと報道。
- 3日付セントビンセント紙は、3日同国政府と台湾は、セントビンセント島西岸に計画されているホテル建設に5千万米ドル超の融資に署名したと報道。
- 4日付セントルシア紙は、カリブ開発銀行の18年国別経済レビューで、セントルシアの財政収支は、18年9月時点でGDP比+0.3%と前年同月の▲0.8%から改善された、投資による市民権プログラムの貢献が大きいと発表したと報道。
- 10日付セントビンセント紙は、カリブ開発銀行は、今年の同国経済成長率は2%と見込まれ、海外直接投資の増加、インフラ開発からの効果及び健全な経済運営がその要因と発表したと報道。
- 12日、グレナダ政府は、スティール気候強靱性大臣が8～14日のワシントンでのIMF世銀総会に出席し、災害復興戦略、気候変動、ブルーエコノミー等につき協議したと発表。
- 13日付セントキッツ紙は、ブラントリー外務大臣は、EUの非協力的な司法組織を持つブラックリストに同国は入っていないが、カリコム4カ国が掲載されており、このリストは不公平で、リスト国を恣意的に標的とするものと非難したと報道。
- 14日付セントルシア紙は、11日駐米セントルシア大使は、同国での小規模都市農業支援のための駐米台北経済文化代表事務所と汎米開発基金の調印式に出席したと報道。
- 15日付アンティグア紙は、米務省国際麻薬取締戦略報告書18年版で、アンティグア、ドミニカ国、セントキッツ、セントルシア、セントビンセント等が主要な資金洗浄国として掲載されたと報道。
- 25日、グレナダ政府は、ミッチェル首相は同国訪問中のアラブ経済開発クウェート基金代表団と会談し、同基金が支援している道路プロジェクト等に謝意を述べたと報道。
- 25日付セントキッツ紙は、同日開催した農業オープンデーに出席したハリス首相は、同政権が農業分野にコミットしていると述べた、今年は台湾対外貿易発展委員会が初めて出展したと報道。
- 30日、バルバドスでLIAT航空株主会議が開かれ、ブラウン・アンティグア首相から改善策が提案され、今後更に検討していくこととなった。ゴンザ

ルベス・セントビンセント首相は、この提案は殆どの株主からの支持を得つつあり、保有機を売却せずとも追加的な資金が可能と述べた。(5月2日付報道)

#### 4. 外交

●5日付セントキッツ紙は、東カリブ7カ国の地域安全保障システム閣僚会合がセントビンセントで開催され、ゴンザルベス・セントビンセント首相、ハリス・セントキッツ首相他が出席し、海洋安全保障戦略開発のための支援覚書及び同安全保障システムと東カリブ諸国機構(OECS)との協力覚書が署名されたと報道。

●8日より、セントキッツが3年毎に開催している外交週間行事が開催され、同国駐在大使(兼轄を含む)、同国海外派遣大使、政府関係者等が一堂に会した。今年のテーマは、戦略的外交と効果的な対話を通じての強靱性のある未来の確保で、9日の開会式には、ハリス首相、ブラントリー外相が同国を巡る外交情勢につき基調演説を行った。

●10日付アンティグア紙は、同国関税物品税長官他が2月の財務省関税局による技術協力事業に参加し、貿易円滑化及び麻薬対策という通関業務の協議、関連施設視察等を行ったと報道。

●16日付セントキッツ紙は、ハリス首相が15日から台湾を訪問し、蔡英文総統と会談し、両国間の協力関係を強調し、セントキッツ政府の揺るぎない支持を再度確認した、同首相は最高位の勲章を授与されたと報道。

●16日付アンティグア紙は、ブラウン首相は、グレイズグリーン地域センター引渡し式でこれまでの中国の協力に感謝し、王中国大使に国家栄誉賞を授与すると述べたと報道。

●16日付ドミニカ紙は、14日同国が国際民間航空条約を批准し、193番目のICAO加盟国となったと報道。

●26日、グレナダ政府は、デービッド外務大臣が第2回一带一路フォーラムに出席すると共に王毅外務大臣と会談し、両国の外交関係再開後、両国関係は順調に進展している、中国の支援に感謝すると述べたと発表。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。